

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川内水面漁業振興センター 管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	02水産業を振興する
事業実施期間	平成8年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	施設の開館から相当年数が経過し、施設の老朽化が顕著となってきた。
目的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川内水面漁業振興センターを運営し、加古川水系の水産資源を保全し水産業の振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川内水面漁業振興センター
事業内容 ※目的達成のため の手段・手法	加古川内水面漁業振興センターの管理運営を行い、同施設にて魚の畜養を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	5,181 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,181 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	05 水産業費
目	01 水産業振興費
細目	005 水産振興事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	5,021 千円	5,144 千円	5,181 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	魚の畜養という専門性の高い委託業務であるため、今まで加古川漁業協同組合に委託し運営管理を行ってきたが、施設の老朽化が進んでいるため、適宜修繕を行い、当面の間、施設を維持する。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川内水面漁業振興センター 管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内水面漁業協同組合数	組織	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川内水面漁業振興センター管理運営等委託料	円	4,800,000	4,850,000	4,900,000
内水面漁業振興センター修繕料	円	221,400	293,760	280,500
活動指標分析結果	管理運営等委託料については、消費税増税時に5万円増加。以降は変更額なし。また、修繕料については、施設の老朽化により、近年約30万円の修繕が発生している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
加古川内水面漁業振興センター放流実績	匹	10,275	11,485	14,038	令和2年度	15,000
成果指標分析結果	放流実績は昨年度より増加しており、加古川の水産資源確保に一定の成果があるものと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	水産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	01農業・水産業を振興する
施策	02水産業を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市漁業振興事業補助金交付要綱、水産多面的機能発揮対策交付金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	水産資源増加、水質向上のための取組みを継続して行っており、一定の効果があると考えられるが、引き続きの取組みが必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	○水産資源の増殖、水質の向上を図る。○漁業者数の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	東播磨漁業協同組合
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	○海底耕うん、水産資源（浅場）の機能低下を招く生物の除去及び機能発揮のための生物（アサリ）移植、保護区の設定、河川清掃等の水産多面的機能発揮対策活動○ヒラメの稚魚の放流やたこつぼの投入、のりの養殖のための浮標灯設置事業を行う漁業振興事業○東播磨漁業協同組合員の漁船保険費用の補助事業

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	4,146 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	50 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,096 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	05 水産業費
目	01 水産業振興費
細目	005 水産振興事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	4,155 千円	4,074 千円	4,146 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	全国的な漁獲高の減少傾向により、漁業者の減少は避け難いものとなっているなか、漁業の経営安定のための補助等を行うことで漁業者数が維持できている。また、水質向上や水産資源の増加に向けての取組みも効果が期待される。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	水産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
東播磨漁業協同組合員数	人	49	50	50

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
水産多面的機能発揮対策活動実施回数	回	9	9	9
漁業振興事業補助金額	千円	1,780	1,780	1,782
漁船保険補助金対象隻数	隻	49	50	50
活動指標分析結果	水産多面的機能発揮対策活動については前年度と同水準の活動内容を維持した。また、水産資源の増殖、漁業者数の維持を図るという観点から適切な補助金額であると考えます。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
東播磨漁業協同組合員数	人	49	50	50	令和2年度	50
漁業経営体数	経営体	39	41	47	令和2年度	47
成果指標分析結果	近年、全国的な漁業者減少の流れがあるが、漁業経営体数が微増していることから、事業成果が認められる。					